

特別支援教育あどばいすタイム

# 子どもへの教育相談的な関わり方 ～児童生徒理解に基づく共感的な関わり～



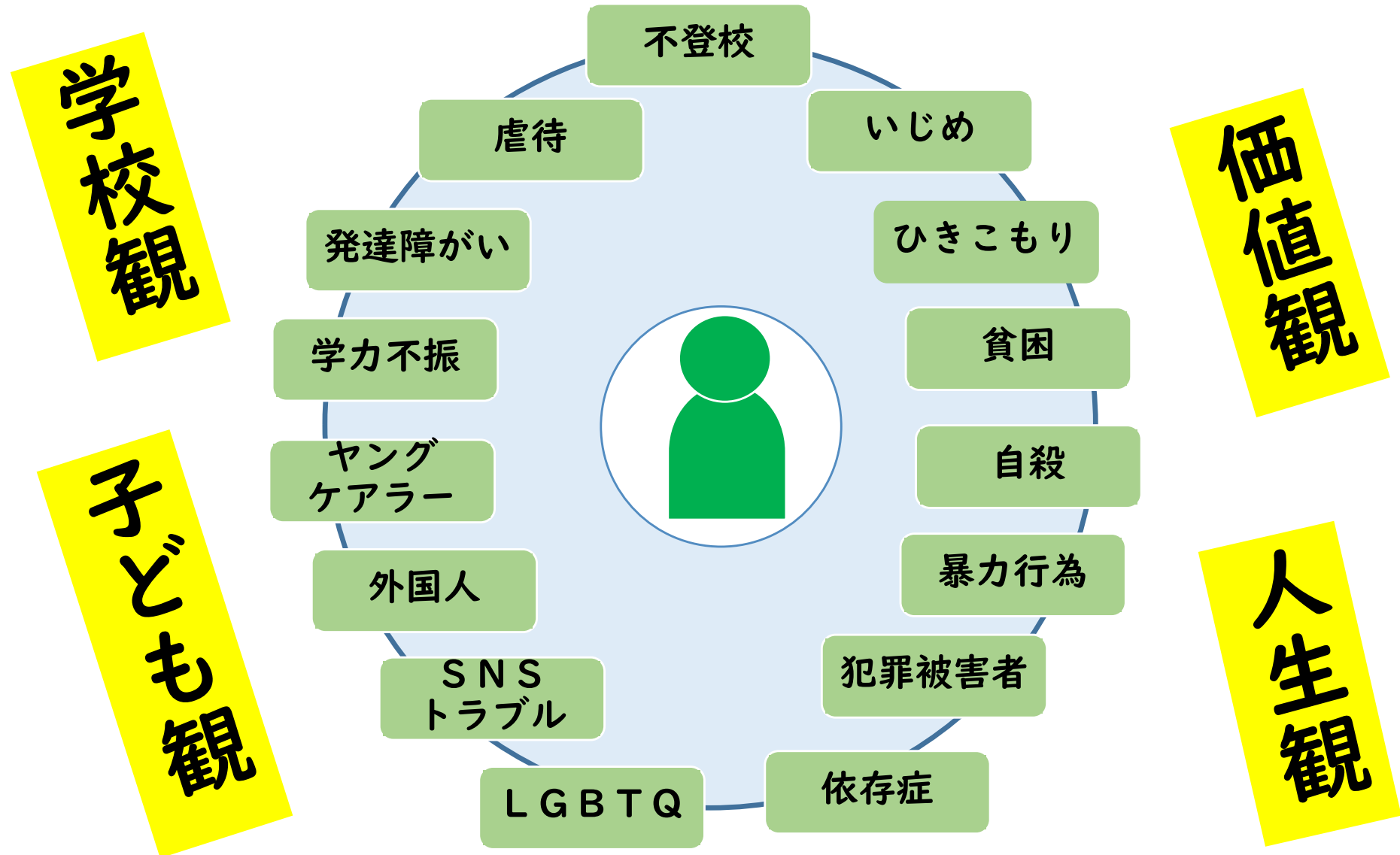
徳島県立総合教育センター  
特別支援・相談課

# 本日の内容

- 教育相談の目的
- 教育相談的な関わり
- 児童生徒のアセスメント
- 相談に心理学の技法を生かす
- 総合教育センターの相談事業について



# 児童生徒を取り巻く環境



☑多様性(diversity)への対応

# 教育相談をするのはどんなとき？

相談室

保健室

放課後

休み時間

部活

授業中

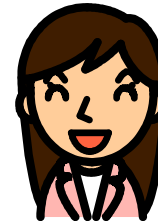
日記

手紙

叱るとき  
ほめるとき



教育相談



給食・  
掃除

電話

懇談・  
面談

連絡帳

家庭訪問

相談  
されたとき

学校外で偶然会っ  
たとき



# 教育相談の内容ってどんなこと？



# 教育相談の目的

「教育相談の目的は、児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」

## 個人の資質や能力の伸長を援助

教育相談は、生徒指導の一環として位置付けられ、重要な役割を担うものであることを踏まえて、生徒指導と教育相談を一体化させて、全教職員が一致して取組を進めることが必要

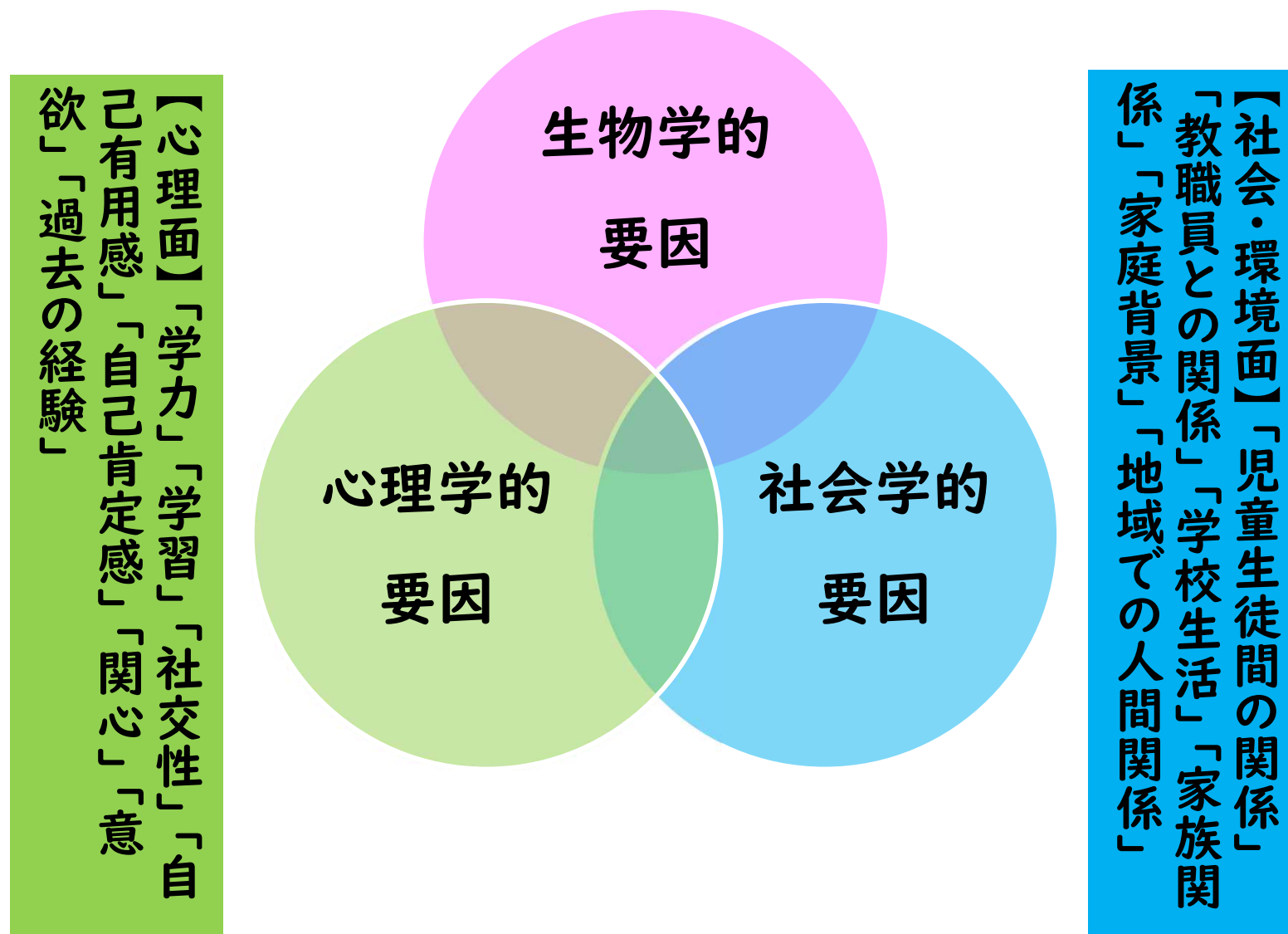
# 教育相談的な関わり方とは

- ① 指導や援助の在り方を教職員の価値観や信念から考えるのではなく、**児童生徒理解（アセスメント）に基づいて考えること。**
- ② 児童生徒の状態が変われば指導・援助方法も変わることから、あらゆる場面に通用する指導や援助の方法は存在しないことを理解し、**柔軟な働きかけを目指すこと。**
- ③ どの段階でどのような指導・援助が必要かという**時間的視点**を持つこと。

# 児童生徒のアセスメント

## 生物・心理・社会 (BPS) モデル (Bio-Psycho-Social Model)

【身体・健康面】「睡眠」「食事」「疾患」「体調不良」「特別な教育的ニーズ」





# 児童生徒のアセスメント

**観る** . . . 子どもの様子を観察する  
(健康状態、登校状況等も)

**聴く** . . . 子どもの心の声を聴く

**共有する** . . . 情報を出し合う



# 観る → 情報収集！ → 共有

## どこから？ 誰から？

- ① 観察から
- ② 保護者や本人との話から
- ③ 定期的なアンケート、  
チェックリスト、引き継ぎ  
シート等から
- ④ 他の教師から  
(担任、学年主任、養護教諭、部活顧問、生徒指導担当、教育相談・特別支援教育コーディネーター、管理職等)
- ⑤ 専門機関との連携から  
(医療、福祉、相談機関等)

## どんな情報を？

- これまでの状況  
(前学年、最近の様子、必要に応じて生育歴)
- 本人のこと  
(行動特性、学習、疾病、趣味、特技や得意なこと、最近関心のあること等)
- 家庭での様子
- 対人関係
- いじめの有無



守秘義務を守り  
ましょう！

# 聴く ➡ 「傾聴」 「共感」 「受容」

## ●傾聴

心を開き、心で聴く。話し手が伝えたい気持ちにも心を傾ける。

## ●共感（共感的理解）

聴いた話を相手の身になって理解する（理解しようと努める）。「怒ってるんだ」ではなく、「それは腹が立つだろうな」と話し手の立場で感情を想像し、味わう（味わおうとする）こと。

## ●受容

相手を否定せず、今のまま、ありのままの相手を受け入れる。

# 傾聴の技法

姿勢

表情

目線

抑揚

相づち

そうなんだ

うなずき

メッセージの7～8割は「非言語コミュニケーション」によっても言われています

そうそう

～だったんだね

～ということ  
だね？

それで？

～について  
もう少し聞かせて

それから？

確認  
(繰り返し)

質問

◎決めつけない ◎詮索しない ◎自分の話はしない

# 「心理的事実」と「客観的事実」

気持ちは受け止め、誤りは修正する！

心理的事実（行動時の心情）の受容・共感  
＋  
客観的事実（実際の言動）への指導・支援

悪いことをしてしまった背景をきちんと捉えて、心理的事実には愛情をもって、客観的事実にはきちんと向き合える教師を目指したい。

# 「コンプリメント」

コンプリメントとは・・・「褒め言葉」「賛辞」

⇒ 相手を元気づける言葉掛け

リソース（その人の能力、資質、特技等）、  
したことやできたことを**ポジティブな言葉**  
**でフィードバック**

承認欲求を満たす  
⇒望ましい行動へ

例えば

「すごい！」 「やったね！」 「さすがだね」  
「どうやってしたの？」 「上手だね。コツを教えてくれない？」  
「あなただったら、きっとできると信じてたよ」  
「前から思ってたんだけど、それって、あなたのいいところだと思うよ」  
「あなたには、□□できる力があるよね」  
「いつも、□□してくれてるね、ありがとう（助かるよ）」  
「最近、☆☆ができるようになってきたね」  
「〇〇さんが、あなたのことを△△ってほめてたよ」  
「よく話をしてくれたね、あなたには勇気があるよ」

ちょっとした  
変化に気づいて



# 「リフレーミング」

リフレーミングとは・・・「枠組みを変える」

⇒ 従来のとらえ方や見方を変える  
ネガティブなイメージを変えるには、  
ポジティブなイメージに換言する



ビジネス本、敬語の本にも使われています  
(叱り方のページ)

しつこいな	→	粘り強さでは勝てないな
せっかちな	→	頭の回転がはやいな
実力ないなあ	→	君には可能性が秘められて いるんだぞ！

# 演習：リフレーミング①

□ 1人でします

● 次のセリフをリフレーミングします

心配性で、取り越し苦労が多いんです…



感情の浮き沈みが激しくて…



頑固で困っています…



私、ルーズなところがあって…





# 演習：リフレーミング①

□ 1人でします

● 次のセリフをリフレーミングします

心配性で、取り越し苦労が多いんです…

課題や問題点に気づきやすいのですね。

感情の浮き沈みが激しくて…

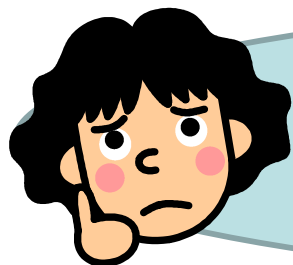
感受性豊かなのですね。

頑固で困っています…

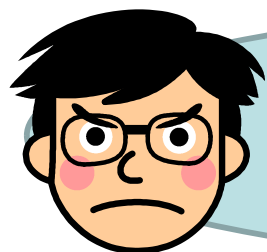
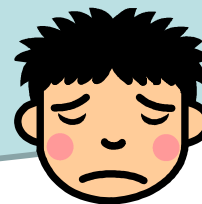
意志が固くてブレない価値観を持っているのですね。

私、ルーズなところがあって…

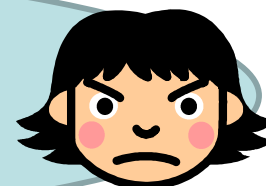
細かいことにこだわらず、おおらかですね。



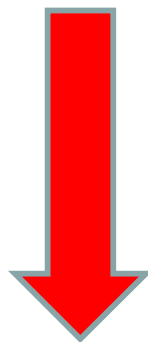
問題を抱え、悩んでいる  
保護者や子どもたち



学校への怒り、教師への反抗を  
示す保護者や子どもたち



リフレーミング



コンプリメント

話を進めていくなかで、相手が「〇〇ならできるかも！」「〇〇をやってみようかな」と主体的に考えて行動するきっかけを作り、目標達成に向けてサポートする【コーチングの視点】

# 「・・・教師が日頃行う意識的な対話や言葉掛け・・・」

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説より)

「またやったの!？」

「何でそんなことばかりするの？」

「何回言ったらわかるの？」

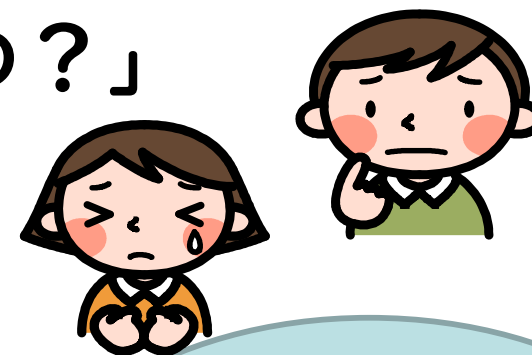
「もう、いい加減にして・・・」

「あなたはいつもそう・・・」

「困ったらいいわ。」

「○年生でもできるよ。」

「幼稚園からやり直したら？」



相手の元気を  
引き出さない  
言葉の例

問題発生 → 注意や指導 → 症状悪化の循環に・・・



日頃の対話や言葉掛けを意識して好循環を作る

# 先生方、 「心の健康」にも気をつけて…

- 相談する人はいますか？
- 一人で抱え込んでいませんか？
- 気分転換の方法や趣味がありますか？
- S C、S S Wなどと連携し、それぞれの専門性を生かして分担することも大切→チーム学校！
- 先生方がリフレッシュすることは、結果的に質の高い教育活動となって子どもに還元されます



# 総合教育センターで行っている各種相談 (電話相談・来所相談・メール相談・出張相談)

不登校、発達についての相談など、教育に関する  
様々な相談をお受けしています。

- 対象：18歳までのお子さん、保護者、教員等
- 時間：午前9時～午後5時（土日、祝日を除く）
- 来所相談は、電話での予約が必要です  
面接時間は1回50分です
- 出張相談は、来所相談で必要が生じたときに、  
学校等へ出向きます
- 教員の指導上の相談にも応じます**



# お疲れ様でした

悩み事があれば、いつでも遠慮せずに  
相談してくださいね

